

今年も大変  
お世話になりました

うつのみや

病院

令和2年12月吉日

# 看護部



うつのみや病院の  
看護師さんたちの仕事に  
ついて教えてよ！

病棟の看護師さんやケア  
ワーカーさんは、色々な  
取り組みをしているよ。



## コンシェルジュナース

外来にはコンシェルジュを配置しています。身体の不自  
由な人や高齢者の方のお手伝いをしています。看護師さん  
なので体調の悪い時でも安心。事務手続きの手伝いや  
介護の相談にも乗っています。



## ファストパス診療

介護施設の人やヘルパーさんが、利用者さんの付添いで受診する時は、事前に申し込んでおく待ち時間なし  
で診察が出来ます。詳しくは、外来または地域連携室にお問合せ下さい。申込用紙は、病院ホームページから  
(宇都宮病院→医療介護従事者の方へ→ファストパス制度→ファストパス申込書&問診票ダウンロード)

## 手作りでおもてなし

今年の夏は、入院中の体調のい  
い時に写真を撮って、ウチワを  
作ってプレゼントして大好評  
でした。



患者さんの好みをまとめて可  
愛くデコレーションした手作  
りの「おもてなしカード」を作  
っています。枕元に飾って、患  
者さんや家族さんにも大好評。  
病棟スタッフとの日々のコミ  
ュニケーションにも活用して  
います。





入院中には、スタッフが  
色々なこだわりをもって  
ケアしているよ

# 看護部

## 「食」へのこだわり①

入院患者さんの嚥下機能を最大限に活かす為、「摂食嚥下チーム」があります。

「摂食嚥下チーム」は、月1回、さかい耳鼻咽喉科（酒井先生）と紀州リハビリケア訪問看護ステーション（摂食嚥下認定看護師）にお越し頂き、当院の看護師、ケアワーカー、ST、OT、PT、歯科衛生士、管理栄養士が検査と診察に同席します。検査から得られた情報と酒井先生からの指導・指示に基づいて入院中のケアと訓練を行います。「諦めずに最期まで口から食べる」を追及しています。

## 「食」へのこだわり②

入院中は、患者さんの食べ物の好き嫌いや、好みのお茶の温度なども把握して、出来る限り患者様の希望に添えるように対応しています。また、歯科衛生士を病棟に配置し、歯や義歯のチェック、口腔ケアを行い、食事の安全管理と誤嚥性肺炎予防に取り組んでいます。

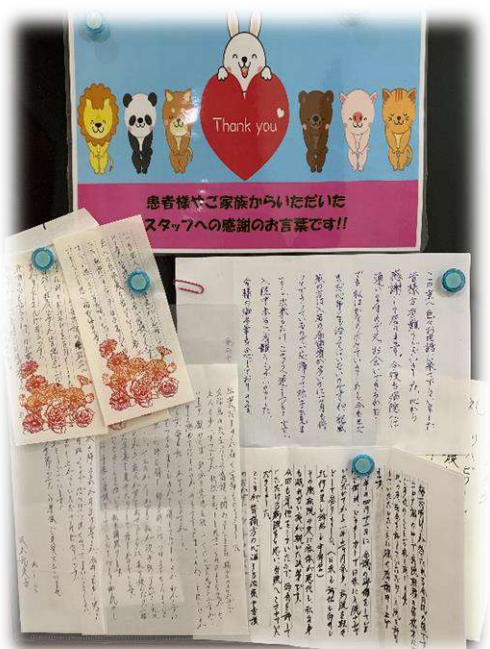


## 家族面会

入院患者さんへの面会については、感染予防対策を厳重にしたうえで 1日1回10分の面会を許可していましたが、12月からの感染拡大によって、一時的に面会を制限しています。（主治医が認める場合を除く）このような状況の中でも、少しでもご家族の方が入院患者さんの顔を見られるようにと、「リモート面会」ができるよう、各病棟にiPadを設置しました。

## 毎月頂く、たくさんのお礼状

患者さんやご家族様から、何枚にも綴ったたくさんのお礼のお手紙を頂いています。病棟スタッフには、このお手紙が大きな励みになっていて、頂いたお手紙は職員食堂に掲示させて頂いています。



## 慰霊祭

毎年12月、近くの阿弥陀寺で慰霊祭を行っています。病院や在宅で看取りをさせて頂いた方々のご供養を行い、ご家族様にお越し頂き、グリーフケアにも繋がっています。





ねえねえ おかあさん  
うつのみや病院の  
リハビリ部には  
どんな人たちがいるの？

みんなで16人も  
いるみたいよ

へ～ たくさん いてるんやね  
で、どんなリハビリをしてるの？

# リハビリ部



## 介護保険サービスにも対応

呼吸器系疾患、整形外科系疾患、脳血管疾患の方へのリハビリを実施。

入院患者さんだけでなく、外来患者さんへのリハビリを行い、早期退院を目指して継続的にフォローしています。介護保険の訪問リハビリ・通所リハビリも可能です。

## OT、ST も大活躍

リハビリテーション部には、PT8名、OT4名、ST2名、ケアスタッフ1名、リハビリ事務1名が働いています。高次脳機能障害分野のリハビリにも力を入れています。

言葉の認識、発話、食事の飲み込みなどの障害がある方には、言語聴覚療法を行っています。

## 回復期リハのレベルに！

地域包括ケア病棟では、一日平均1時間20分程度のリハビリを提供しています。その中でも特に、リハビリが主体の入院患者さんには、最大で一日3時間程度のリハビリを行うこともあります。

## 土日もリハビリ

入院中の土曜、日曜も必要に応じてリハビリを実施しています。

また、医療療養病棟でも、必要に応じて出来る限りのリハビリを行っています。

## 在宅生活をサポート

在宅復帰を目指す患者さんには、入院中に家屋訪問を何度か行い、住環境のチェックもしています。

在宅に関わる方々との連携を密にしています。



平均年齢31才！  
これからも  
がんばります！



ねえねえ 次は  
うつのみや病院の  
栄養士さんの仕事につ  
いて紹介してよ。

栄養士さんは、患者さんの  
食事以外にも 色々な仕事  
をしてくれているよ。

# 栄養科



## 細かい対応

入院患者さんの体調や病状を観察することはもちろん、好き嫌いも把握して食事量の変化に気をつけています。朝食、昼食、夕食、それぞれの摂取量を見て、一日の食事量が安定するよう臨機応変に対応しています。

「最期まで口から食べたい・食べさせたい」という気持ちに寄り添って、食事時間以外にも患者さんと会話をして、主食を麺類にしたり、うなぎを出したり（自費あり）など、様々なきめ細かい対応を行っています。

## 歯科衛生士さんとコラボ

咀嚼機能や口腔機能に低下のある患者さんには、歯科衛生士さんと連携します。義歯の使用がどこまで可能か、咀嚼能力がどうかを判断して、食事形態を調整しています。

## 退院後を見据えて

自宅や施設に退院する患者さんには、入院中に家族さんや介護施設の担当者に現状の食事状況や食事形態をしっかり説明します。

「入院中は、しっかり食べていたのに、退院すると急に食べなくなった」ということにならないために、家族さんや施設の方に病室に来てもらって、食事内容や調理方法、食べている姿を見てもらいながら指導しています。カロリー、塩分、糖分等の制限がある場合には、介護施設の栄養士さんと直接連絡を取り合っ、安全に継続してご飯が食べられるようにサポートしています。

## 作っているのは中心屋さん

厨房では、居酒屋チェーンの中心屋さんのスタッフが食事を作っています。本物の料理人が作る病院食だから、入院患者さんにも美味しいと大好評！



職員給食にも忠次郎の和歌山ちゃんぽんがで  
てきます。

# 総務・医事課



おとうさ～ん  
うつのみや病院の事務  
の人たちは  
どんな仕事してるの？

病院の色々な管理が一番の仕事  
だけど 患者さんの為に送迎な  
ど 色々な仕事をしているよ。



## 無料送迎実施中

病院から5km圏内なら、身体の調子が悪かったり、通院手段がなかったりする場合、地域連携室と協力しながら無料で通院・入院の送迎をしています。

また、車いすが必要だったり、ベッドから起き上がれないような状態の方には、数名でお伺いして介助を行っています。



普段の外来患者さんの送迎は、狭い通りにも入れるように軽のアルトが大活躍！



転院時などは、酸素や点滴を付けたまま搬送できるキャラバンが大活躍！



布担架を購入しました！  
ストレッチャーの通れない狭い廊下や、階段のある場所で使っています。

## お金の管理

身寄りのない人で、金銭管理や貴重品の管理が出来ない方については、入院中に総務がしっかりと金庫で管理をしています。地域連携室と協力して、後見人が決まるまでの手続きをしたり、財産管理のお手伝いをしています。

また、入院中に歯科や耳鼻科の対診を受けた場合、診察費用の自己負担分を当院の総務が歯科医院や耳鼻科などへ足を運んで、支払いの代行をしています。

## 入院費用は振込も可

近頃は、入院患者さんの家族も遠くに住んでいることも多くなりました。

通常は、毎月病院の窓口で入院費をお支払頂くのですが、ご家族が遠方でなかなかお越し頂けないような場合、振込みでも対応できるようにしています。

## 買い物代行

入院患者さんで、家族や親せきが近くにいなかったり、身寄りのない方には、入院中に必要な物を買に行きます。特に多いのは、タオル、肌着、パジャマ、ひげそりなどです。



連携室は社会福祉士  
1名、看護師2名で  
やっています。

# 地域連携室

地域連携室の  
お仕事について  
教えてください



## 24時間対応

土曜日の午前中も1名出勤しています。

日曜、祝日の出勤はしていませんが、電話での相談は24時間365日対応しています。平日・土曜の午前中は、073-471-3148へ  
休日、夜間は、080-8325-4720（柴野）までお願いします。

## 患者さんファースト

宇都宮病院の連携室には、「ここまでが連携室の仕事」という線引きがありません！  
患者さんの要望に応えられるよう「そこまでやるか！」のレベルまでチャレンジしています。

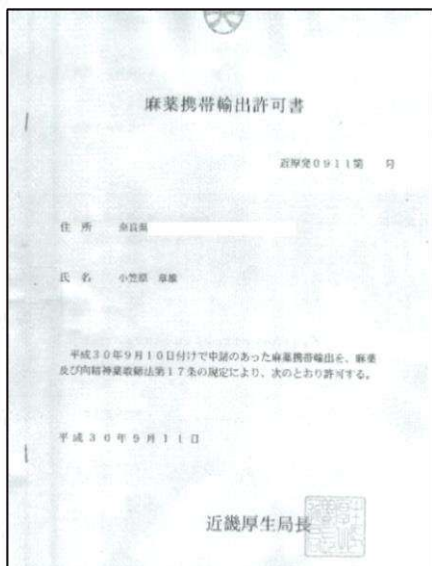
今までに最も記憶に残る退院支援は・・・

末期癌の男性入院患者さんをフィリピンに退院させたこと。身体はやせ細り、移乗すらままならない状態で、痛み止めの麻薬を使いながらも、「友人の居るフィリピンにどうしても行きたい」と。

2018年9月、大型台風で関西空港の連絡橋が壊れた時のことでした。軒並み続くフライトの欠航と関西への立ち入り制限により、患者さんの残された時間も日に日に短くなっていく中、クリアすべき事（以下の通り）が多々ありました。

- 変更、変更にあつてはフライト予約の手配と管理。フィリピン航空との度重なる調整。
- 機内に持ち込む診断書の用意。万が一の状態になった際の為に、英文の診断書が必要。
- バルーンを付けたまま、国際線に乗れるか？ 専門医と航空会社に確認。
- 患者さんを国際線搭乗口まで搬送しました。大阪府警にも事前確認。
- 麻薬輸出申請書と麻薬携帯輸出許可証の申請と許可を得るため、麻薬取締部との連絡調整。
- 現地到着後の搬送スケジュール調整等。

9月19日、無事に関西を飛び立ち、フィリピンで療養生活を送っていましたが、翌年3月末にフィリピンで永眠されました。それまでの間に、現地からは「毎日きれいな海を見ながら、有意義な時間を過ごせています。ありがとう。」と写真やお礼のメールを頂きました。



来年もよろしく  
お願い致します



理事長 宇都宮 宗久 (丑年)

医療法人 久仁会 宇都宮病院

和歌山市鳴神 505-4

Tel:073-471-1111

撮影協力 黒沢牧場 2020.11.26

焼き肉 きたがわ牛侍